

WEEKLY REPORT

毎週参加できることのできない方々が対象です。ジュニア会員は40歳未満とし、5年の間に正会員となって頂く会員として位置づけました。

- 外部卓話者を多く取り入れ、楽しく価値ある例会とする。
会員卓話が多くなるにつれ会員減少が目立ち始めました。昨年は多い人で1年のうちに3回も卓話をしている状況でした。会費値上げにより外部卓話者をお呼びする事が可能になり入会候補者を連れてきて身内だけの集まりでない印象を作り、入会候補者を呼び好いクラブだと思って頂けるようにしております。
- クラブ名の変更。
実は昨年6月末で兄弟クラブである横浜鶴見西クラブが解散になり、当クラブも横浜鶴見北である必要があるか？という問題点が出てきました。特にパストガバナーから、会員枠を増設したのなら新しい名前にしてはどうかとの意見が寄せられました。これは私にとって、チャーターメンバー健在の中、本当に難しい宿題を頂きましたが、今現在活動中です。
- そうだ！皆でハワイに！
こちらは2月7日出発で行くことになりました。但し平均年齢が68歳の当クラブではクラブ行事としてでも、また親睦委員会を中心とした移動例会でもなく、ただ仲間と楽しもうという趣旨でいく事になりました。しかしクラブとしてアナウンスは正式にいたしました。いつも苦言を呈して下さる先輩も行くので楽しみです。

以上のような事をしながら、まずはクラブ内の会員が楽しくなり、そして奉仕の心のシェアリングが広まり、率先してクラブ活動とクラブの良さを会員以外とシェアリング出来ることで、会員増強に繋がる事を本気で願っています。

ご清聴有難うございました。

社会奉仕基金2,726円

《会報編集委員》大川隆永・野澤新之助・高橋修・森谷充伯

Rotary  2018-2019年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2236回 例会 2019年1月23日(水)

- | | | |
|------------------|---------|--|
| ■国際ロータリー会長 | バリー・ラシン | ■例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30) |
| ■第2790地区ガバナー | 橋岡久太郎 | ■例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」 |
| ■第13G アシスタントガバナー | 野村 充 | ■事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 カライズ'ハイツ101 |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 | 高橋 一彦 | ■TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910 |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 | 小澤 直之 | ■Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

WEEKLY REPORT

<第2236回 例会プログラム>

		司会 沖昌彦
12:30	点鐘 ロータリーソング斉唱【♪我等の生業】	高橋一彦会長
12:35	会食	
13:00	例会再開 会長挨拶 幹事報告	高橋一彦会長 小澤直之幹事
13:10	卓話	渡辺直昭様
13:25	社会奉仕基金発表 ニコニコ発表	大塚精一委員長 関征啓委員
13:30	点鐘 高橋一彦会長	

<クラブ会長挨拶:高橋一彦会長>

先日の新聞チラシの一部から、少し気になりましたので触れさせていただきます。
最近、賃貸業に関連した記事や賃貸オーナー相談窓口が多くなっていることを目にします。

古くなって空き室が多くなった貸家は、ある時期には「売却」「除去・解体」「建て替え」が必要となってきます。しかし近年、老朽貸家を所有している人に高齢者が多くなってきている事、また、それに絡む相続等に対する相談窓口が、土地や建物に関連する業者に部門として設定されるケースが増えているとの内容が記載されておりました。



時代の移り変わりと共に建物の老朽化や事業貸借条件への対応は避けられないのが事実ではありますが、いずれにせよ今後の時代に出来るだけ沿う様な策案が見いだせればとは感じます。私の所属会社も賃貸テナント業が大半をしめておりますので、このような問題に随時対応しなければなりません。その意味からも、建物や法律に関しての専門知識が必要不可欠となります。

そのような中、私が幸せだと感じているのはロータリーのメンバーである事です。勿論、専門業種のメンバーからのアドバイスもありますが、多くの異業メンバーからの知恵やご意見を伺うこともでき、またその先には仲間意識より直接お世話頂く業界のメンバーも在籍しておられます。日頃のロータリー親睦意識から親身になって相談に対応していただける会員方々の近くに身を置かせて頂いている事がロータリアンである事の幸せの1つとっております。その感謝がお世話になった会員、また業者関係スタッフ、布いては地域の方々に形として表していく事がロータリー職業奉仕の1つなのではと思っております。

また、ロータリーでのクラブ内活動も、多くの会員が在籍すれば皆様に良い事が沢山あると想像されま。いろいろな関連付けより多くの意味や活動が生じているロータリーですが、職業奉仕月間でのクラブへの推奨活動の一環として増員活動もあるそうでございます。

本日はゲストの渡辺直昭さまより増員活動に対してのアイデアとして卓話を頂戴する予定ですので、会員皆様にヒントを得て頂ければと存じます。

WEEKLY REPORT

<幹事報告:小澤直之幹事>

- 松戸ロータリークラブ例会変更のお知らせ
2019年1月30日(水)「移動家族例会」へ変更
場所:ホテルザ・マンハッタン 18:30点鐘



<卓話:横浜鶴見北ロータリークラブ第46代会長 渡辺直昭様>

テーマ 『伝統を超える革新』 『新しい会員枠の増設』

こんにちは。この度、平田直前会長よりお声掛け頂き本日卓話をさせていただきます、渡辺です。

先輩方を前にしてお話するような事では無いかもしれませんが、宜しくお願いします。

題目であります、新しい会員枠の増設ですが、第2590地区全体でもここ何年も会員減少が著しく、当クラブも2年前の年度には逝去された方を含め6名の会員が減りました。1年間に減少した数字としては、過去最高人数であったと思われま。当時私は幹事をしており厳しい状況がありました。やめていく理由はと申しますと、『つまらない』が殆どで会社業績悪化等もありました。

しかし、会員が増強しているクラブもある事は事実で、下請けに強制的に加入させたり、家族を入れたりして増員しているようなクラブもあるように思われま。会員増強を図るために、会長をおおせつかる段階で新しい会員枠を作りたいと言いつづけました。

昨年11月に理事会を経て11月末に臨時総会を開き全員一致にて新会員枠を作りました。理事会ではパストガバナー含めチャーターメンバー等からも反対意見がありましたが、それは会員枠を作つてはいけないという思い込みからで、RI2016年定款細則変更をよく読んで頂き理解して頂きました。

毎年ですが、7月には会員増強を頑張ろう！1月には退会者防止に努めよう！という流れが多かったのですが、年末より会員皆様から、こんな人がいるが新しい会員枠の利用が出来ないだろうか？等、退会者の話でなく会員候補者の話が多く出るようになりました。そこで、新しいクラブの在り方を作らなければならぬと思っております。

会長になり行った事・行いたい事は下記の5つの通りです。

1. 年会費を33万円から36万円にアップ。
会員数が33名になったら33万円に戻す事。現在は28名が会員。
2. アンバサダー会員枠・ジュニア会員枠の設立。
アンバサダー会員年会費72000円・ジュニア会員146,000円という会員枠を創設。アンバサダー会員とは地域の名誉ある方々で、名前の通り当クラブの大使・広告塔として会員増強のポテンシャルを持っている様な方。たとえば学校法人校長先生、大病院の院長など平日のお屋に